



焼津市スポーツ推進計画

- 後期計画 -

令和6（2024）年度～令和10（2028）年度

令和6（2024）年3月

焼津市

もくじ

もくじ

第1章 計画策定にあたって

1 計画見直しの目的.....	3
2 計画の位置づけ	3
3 計画の期間	4
4 国、静岡県及び焼津市の動向.....	5

第2章 焼津市の現状と課題

1 焼津市の現状	9
2 今後の課題	18

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念	21
2 基本方針	22
3 施策体系	23
4 目標値	24

第4章 施策の取組

基本方針1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進.....	27
基本方針2 市民満足度の高いスポーツ施設の提供.....	33
基本方針3 夢を育み、スポーツ交流でにぎわうまちの創出.....	37
基本方針4 競技力向上を目指したスポーツ活動の支援.....	41

第5章 計画の推進にあたって

1 計画の推進	47
2 実施進捗の評価と情報収集.....	48

資料編

1 スポーツ教室参加状況（2022年度／令和4年度）	51
2 サタデースポーツ参加状況（2022年度／令和4年度）	52
3 スポーツ少年団登録状況（2022年度／令和4年度）	53
4 スポーツ施設設置状況（学校体育施設を除く）	54
5 学校体育施設夜間開放利用状況（2022年度／令和4年度）	55
6 スポーツ施設機能レベル（競技種目・施設別）	56

第1章

計画策定にあたって

1 計画見直しの目的

本市では、昭和 53 (1978) 年の「スポーツ都市宣言」以来、より多くの市民がスポーツに親しむことのできる機会と環境づくりを積極的に進めてきました。

平成 31 (2019) 年 3 月には「焼津市スポーツ推進計画」を策定し『だれもが「スポーツ」に親しみ、楽しむ、活力に満ちたまち Y A I Z U』の基本理念のもと、さまざまな施策に取り組んできました。

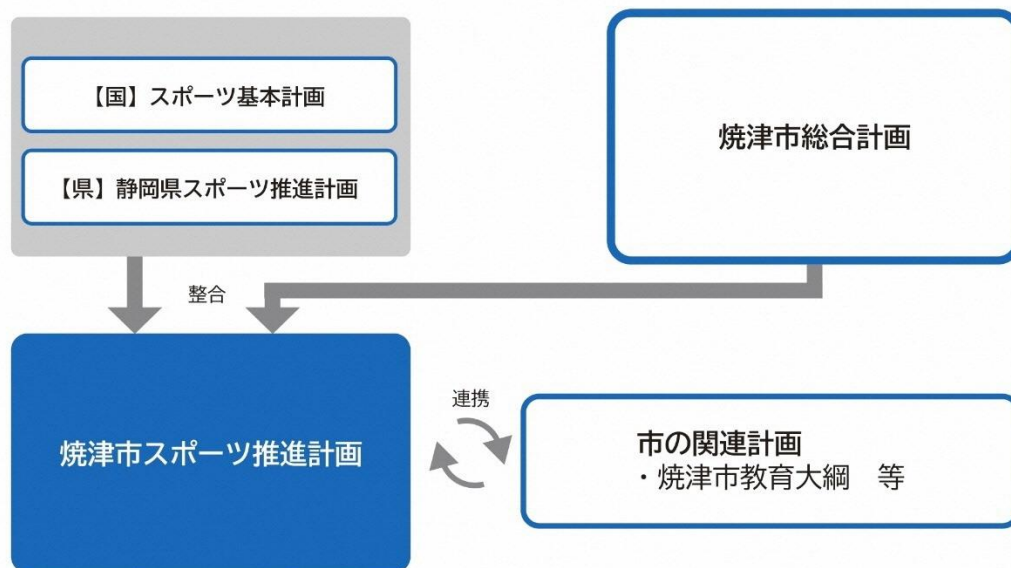
期間中には、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行により、日本の各地域で緊急事態宣言等が発令されたことなどにより外出自粛が呼びかけられ、スポーツの機会の減少による心身の健康への影響が顕在化し、スポーツが生きがいに満ちた暮らしの実現に大きな効果を与えることが改めて示されました。

また、1 年延期して開催された「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」では世界中に大きな勇気と希望を与え、スポーツの社会的価値が再認識されました。

そうした中、計画期間 10 年間の内、令和 5 (2023) 年度に中間年を迎えることから、社会情勢の変化に対応し、更なるスポーツ推進に向けた取組を行うため、中間見直しを行いました。

2 計画の位置づけ

本計画は、国が策定した「スポーツ基本計画」や静岡県が策定した「静岡県スポーツ推進計画」踏まえて策定します。また、「第 6 次焼津市総合計画 第 2 期基本計画」をはじめとした焼津市の関連計画との整合性を図ります。



3 計画の期間

計画の期間は令和元（2019）年度から令和10（2028）年度までの10年間としており、中間年である令和5（2023）年度に社会情勢や事業の進捗状況を踏まえ、中間見直しを行いました。

令和元（2019）年度からの5年間を前期計画とし、令和6（2024）年度から令和10（2028）年度までを後期計画の期間とします。

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
	H31	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
計画期間	前期計画				中間 見直し	後期計画				

4 国、静岡県及び焼津市の動向

(1) 国の動向

● 「第3期スポーツ基本計画」の策定（令和4（2022）年3月）

令和4（2022）年度から令和8（2026）年度までの5年間で国が取り組むスポーツ施策の方向性を示す計画です。平成29（2017）年3月に策定された「第2期スポーツ基本計画」で掲げられている①スポーツで「人生」が変わる、②スポーツで「社会」を変える、③スポーツで「世界」とつながる、④スポーツで「未来」を創るという4つの中長期的な基本方針を今後も踏襲しつつ、第3期スポーツ基本計画では3つの新たな視点が加わりました。

【新たな視点】

新視点1 「つくる/はぐくむ」

新視点2 「あつまり、ともに、つながる」

新視点3 「誰もがアクセスできる」

● 「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関するガイドライン」の策定（令和4（2022）年12月）

平成30（2018）年に策定された「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合したうえで全面的に改訂されました。学校部活動の適正な運営や、効率的・効果的な活動の在り方とともに学校と地域との連携・協働により、生徒の活動の場として地域が中心となり行う地域クラブの在り方や環境整備などについて示されています。地域の実情に応じた生徒のスポーツ、文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することを目指しています。

(2) 県の動向

● 「静岡県スポーツ推進計画」の策定（令和4（2022）年3月）

静岡県では、令和4（2022）年3月に「静岡県スポーツ推進計画」が策定されました。基本理念「スポーツの聖地づくり」を掲げ、スポーツが文化として定着し、スポーツの力ですべての県民が豊かに暮らせる、スポーツによるQOL（クオリティオブライフ＝生活の質）の向上を実感できる社会を目指すための基本的な方向性が示されています。

【基本方針】

- 1 スポーツによる健康づくりの推進
- 2 スポーツ文化の醸成とスポーツを通じた共生社会の実現
- 3 地域特性を生かしたスポーツによる地域と経済の活性化

(3) 焼津市の動向

- 「第6次焼津市総合計画 第2期基本計画」の策定(令和4(2022)年3月)

「第6次焼津市総合計画 第1期基本計画」(平成30(2018)年策定)のまちづくりの基本理念と将来都市像を継承し令和4(2022)年に策定しました。将来都市像を実現するための基本計画「焼津未来共創プラン 2022」において、6つの政策のうち「生きがいを持って暮らせるまちづくり」の分野で「スポーツの振興」を位置づけています。

【将来都市像】

やさしさ 愛しさ いいもの いっぱい
世界へ広げる 水産文化都市 Y A I Z U

【基本計画】

政策3 生きがいを持って暮らせるまちづくり
3-3 スポーツの振興

- 「焼津市教育大綱」の改訂(令和3(2021)年3月)

教育の更なる充実を図るため、焼津市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の根本となる方針です。5つの基本方針のひとつに「スポーツの振興」を位置づけています。

【目指す姿】

みんなで笑顔を育むまち『やいづ』

【基本理念】

優しく、強く、愛しい人

【基本計画】

5 スポーツの振興

- 「焼津体育館再整備プラン」の策定(令和2(2020)年5月)

市の中心部に位置する焼津体育館の再整備を目的に策定しました。新たな施設が多くの市民に愛され、積極的に活用されるよう、市民ニーズ及び近年の公共体育館の整備事例を踏まえ必要な規模や機能の考え方を明らかにしています。

【基本コンセプト】

- 1 誰もが使いやすく、気軽に訪れる屋内スポーツ施設
- 2 地域の安全・安心の確保に寄与する屋内スポーツ施設
- 3 周辺景観と調和した新たな拠点形成

第2章

焼津市の現状と課題

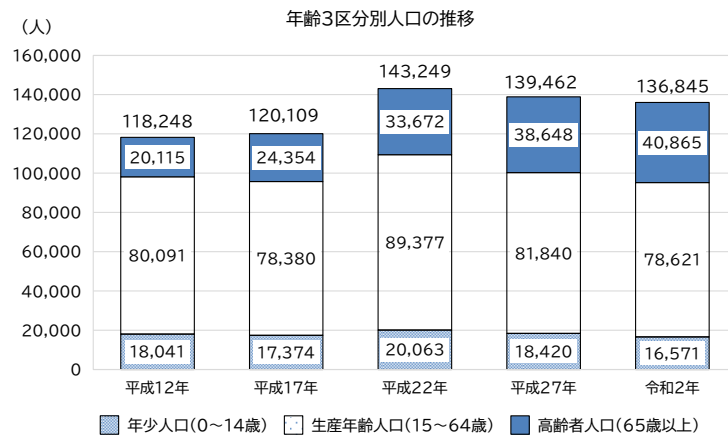
1 焼津市の現状

(1) 焼津市におけるスポーツを取り巻く環境

① 人口・世帯の状況

【年齢3区分別人口の推移】

年少人口と生産年齢人口は、平成 22（2010）年以降徐々に減少しており、令和 2 年（2020）年には年少人口は 16,571 人、生産年齢人口は 78,621 人となっています。また、高齢者人口は平成 12（2000）年の 20,115 人から徐々に増加しており、令和 2（2020）年には 40,865 人となっています。

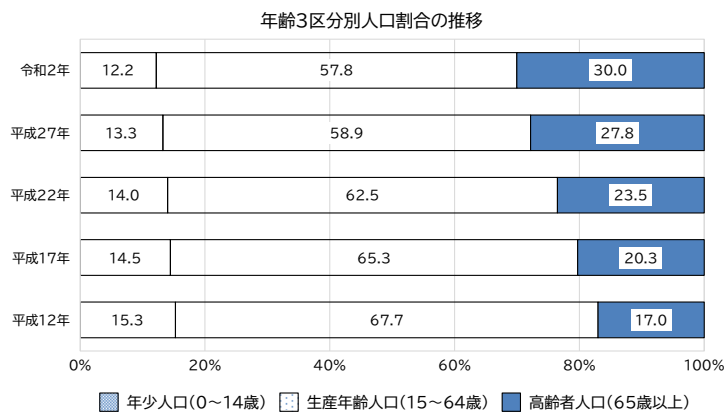


※総人口は年齢「不詳」を含むため、年齢区分別人口の合計と総人口の合計は一致しない

出典：国勢調査

【年齢3区分別人口割合の推移】

年少人口と生産年齢人口の割合は減少しており、令和 2（2020）年には年少人口は 12.2%、生産年齢人口は 57.8%となっています。その一方で高齢者の割合は平成 12（2000）年から増加しており令和 2（2020）年には 30.0%となっています。



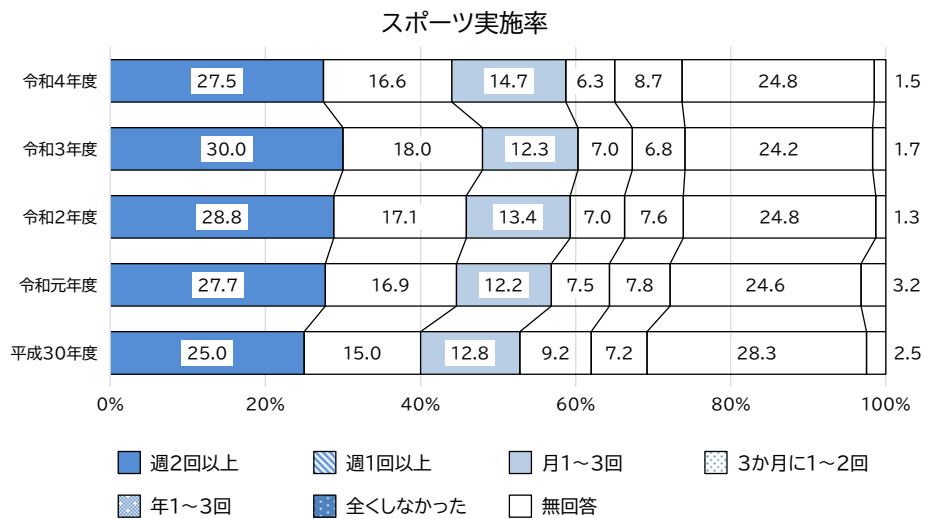
※年齢「不詳」を除いて算出

出典：国勢調査

② 市民のスポーツ実施状況

【スポーツ実施率の推移】

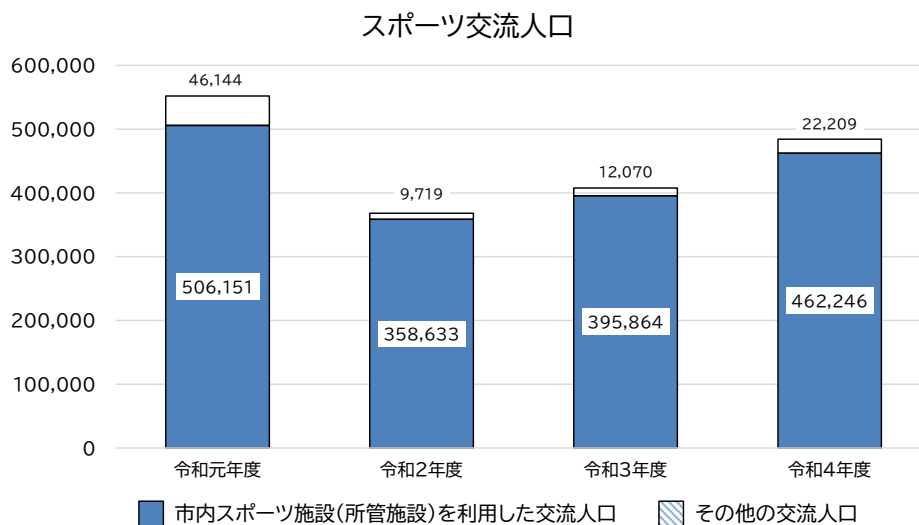
週1回以上スポーツをしている人の割合は平成30(2018)年度以降増加していましたが、令和3(2021)年度の48.0%をピークに減少し、令和4(2022)年度では44.1%となっています。また、スポーツを全くしなかった人の割合は令和元(2019)年度以降ほぼ横ばいで推移しています。



出典：市民アンケート

【スポーツ交流人口の推移】

市内スポーツ施設(所管施設)を利用したスポーツ交流人口は令和2(2020)年度に減少し、358,633人となったものの令和3(2021)年度以降増加し、令和4(2022)年度では462,246人となっています。



出典：焼津のスポーツ「令和4年度報告書」

(2) 市民へのスポーツに関するアンケート調査の結果

● 市民へのスポーツに関するアンケートの概要

【調査目的】 スポーツに関する市民の実施状況や意向を把握し、焼津市スポーツ推進計画策定の基礎資料とすることを目的として実施

【調査対象】 焼津市 LINE 登録者、焼津市スポーツ協会加盟団体、焼津市スポーツ推進委員、市内小中学生

【調査期間】 令和5（2023）年7月21日～令和5（2023）年8月14日

【調査方法】 調査票配布・回収、WEB フォームによる調査方法

【回収状況】

市民	605 件
小中学生	830 件
合計	1,435 件

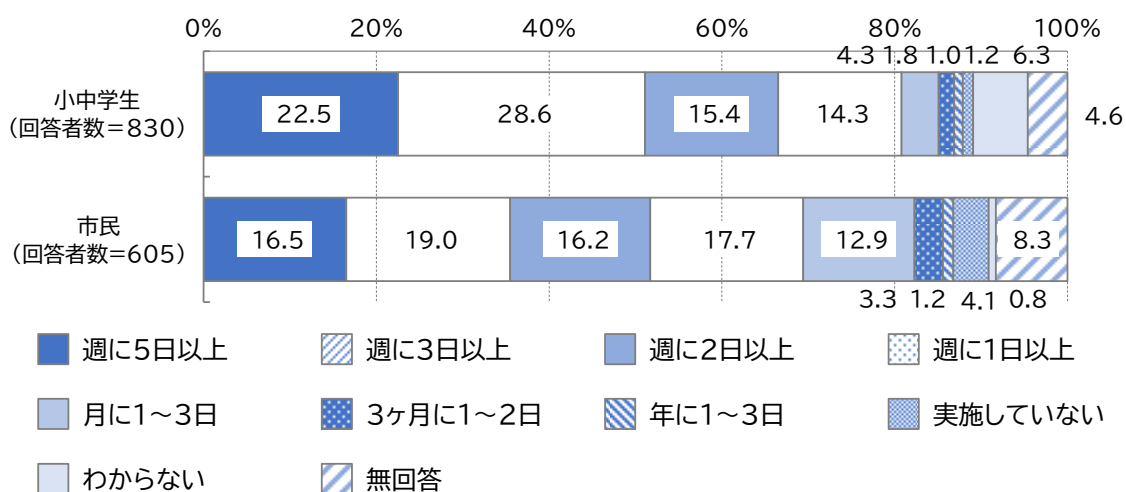
【留意事項】 調査対象における焼津市 LINE 登録者は「スポーツに関心がある」という項目を選択している人であることや、スポーツ協会及びスポーツ推進委員など、スポーツへの関心が高い人が回答していると思われるため、質問項目によっては国などの調査と数値に差が出ていることがあります。

① スポーツの実施状況について

スポーツの実施頻度はどの程度ですか。

小中学生では「週に3日以上」の割合が28.6%と最も多くなっています。「週に5日以上」「週に3日以上」「週に2日以上」「週に1日以上」と回答した人を合わせた「週に1日以上スポーツをしている人」の割合は80.8%となっています。

市民では、「週に3日以上」の割合が19.0%と最も多くなっています。「週に1日以上スポーツをしている人」の割合は69.4%となっています。



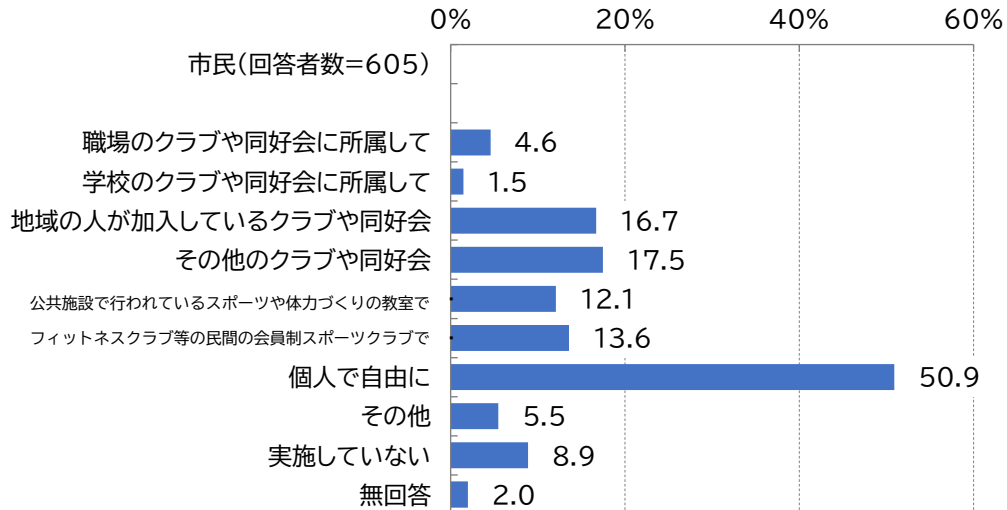
【性別・年齢別】

		%	週に5日以上	週に3日以上	週に2日以上	週に1日以上	月に1~3日	3ヶ月に1~2日	年に1~3日	実施していない	わからない	無回答
小中学生	男性	28.9	31.8	14.9	10.0	3.7	1.2	1.2	1.0	4.4	2.9	
	女性	16.6	25.2	16.1	18.3	5.0	2.4	0.7	1.4	7.9	6.3	
市民	男性	17.5	20.3	16.2	18.2	14.1	3.4	1.7	4.1	-	4.5	
	女性	15.6	18.2	15.9	17.5	12.0	2.9	0.6	4.2	1.6	11.4	

		%	週に5日以上	週に3日以上	週に2日以上	週に1日以上	月に1~3日	3ヶ月に1~2日	年に1~3日	実施していない	わからない	無回答
市民	18~24歳	50.0	12.5	12.5	12.5	-	-	-	-	12.5	-	-
	25~29歳	-	40.0	-	-	60.0	-	-	-	-	-	-
	30~34歳	6.3	18.8	6.3	18.8	18.8	12.5	-	12.5	-	6.3	
	35~39歳	20.0	8.6	20.0	5.7	20.0	5.7	2.9	2.9	-	14.3	
	40~44歳	7.9	15.8	13.2	18.4	7.9	2.6	2.6	10.5	2.6	18.4	
	45~49歳	24.6	8.8	8.8	19.3	17.5	8.8	1.8	3.5	3.5	3.5	
	50~54歳	4.3	14.3	22.9	22.9	18.6	5.7	-	2.9	1.4	7.1	
	55~59歳	15.1	20.5	13.7	16.4	13.7	1.4	2.7	8.2	-	8.2	
	60~64歳	13.0	27.2	14.1	17.4	10.9	4.3	-	3.3	-	9.8	
	65~69歳	15.9	23.2	18.3	24.4	6.1	-	2.4	1.2	-	8.5	
70歳以上	24.0	20.0	20.0	14.4	11.2	0.8	-	2.4	0.8	6.4		

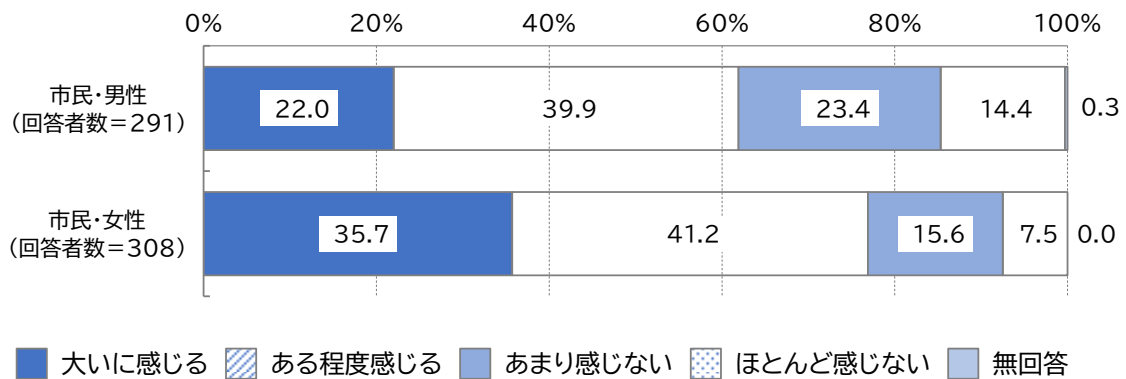
この1年間に、運動やスポーツはどのような形で行いましたか。

市民では「個人で自由に」が 50.9%と最も多く、次いで「その他のクラブや同好会」が 17.5%、「地域の人が入加入しているクラブや同好会」が 16.7%となっています。



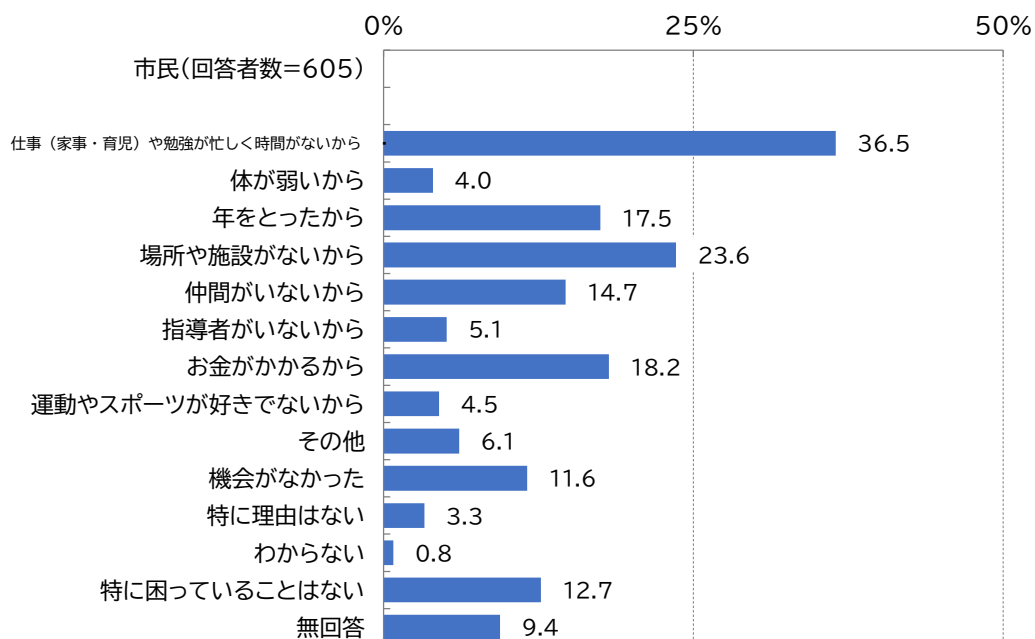
普段、運動不足を感じますか。

市民では、運動不足を感じる人の割合（「大いに感じる」、「ある程度感じる」と答えた人）は、男性で 61.9%、女性で 76.9%となっており、女性の方が割合が高くなっています。



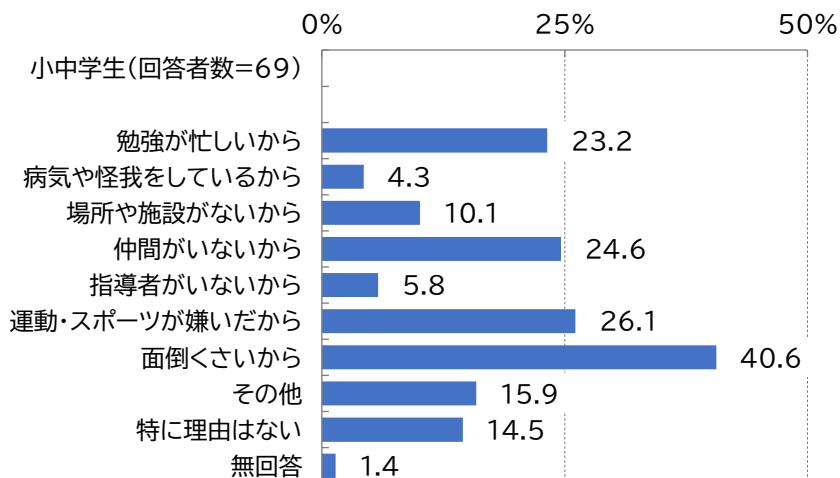
運動やスポーツを行っていない、あるいは、行っているが思うようにできないのはどのような理由からですか。

市民では、「仕事（家事・育児）や勉強が忙しく時間がないから」が36.5%と最も多く、次いで「場所や施設がないから」が23.6%、「お金がかかるから」が18.2%となっています。



この1年間で運動やスポーツを週に1日以上実施できなかった理由は何ですか。

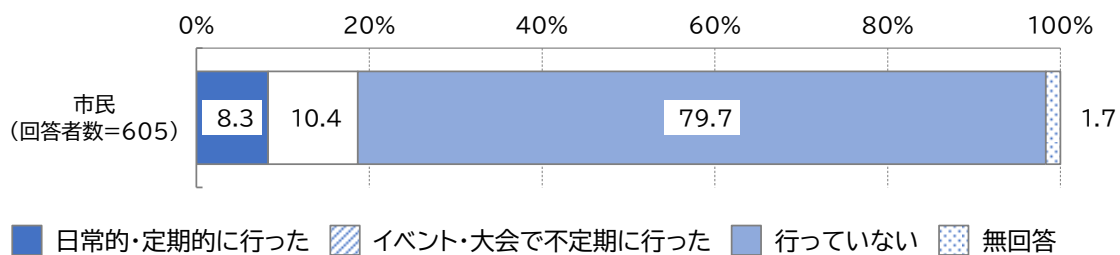
小中学生では「面倒くさいから」が40.6%と最も多く、次いで「運動・スポーツが嫌いだから」が26.1%「仲間がないから」が24.6%となっています。



② スポーツに関するボランティア活動について

スポーツに関するボランティア活動を行いましたか。

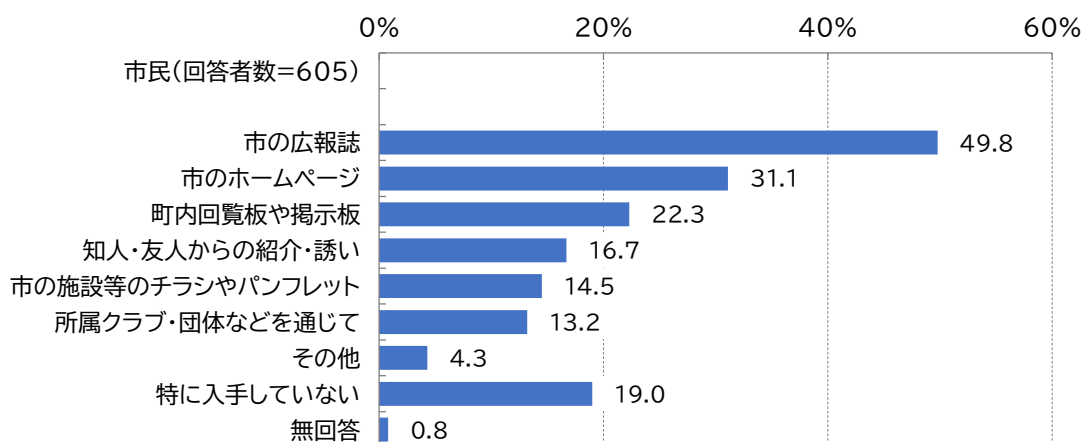
「行っていない」が79.7%と最も多く、次いで「イベント・大会で不定期に行った」が10.4%、「日常的・定期的に行った」が8.3%となっています。



③ スポーツ施設や情報について

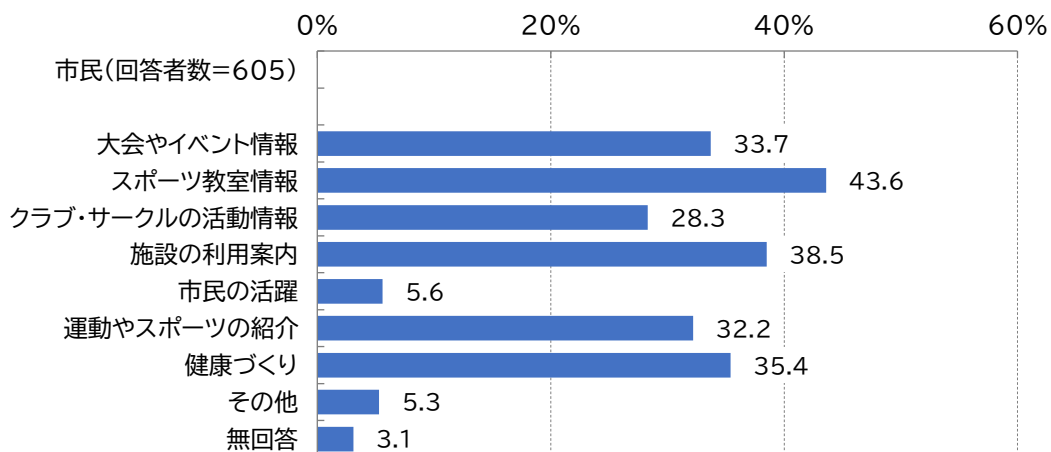
市の運動やスポーツに関する情報をどのように入手していますか。

「市の広報誌」が49.8%と最も多く、次いで「市のホームページ」が31.1%、「町内回覧板や掲示板」が22.3%となっています。



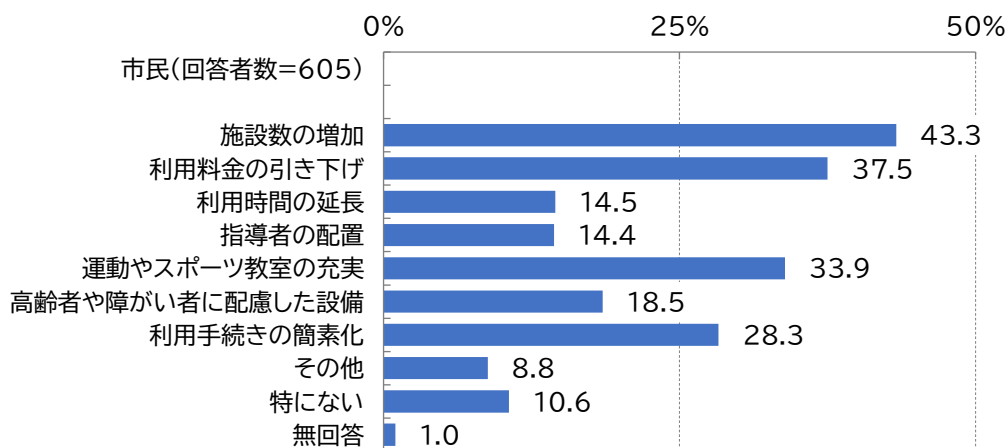
市の運動やスポーツに関する情報としてどのような内容が知りたいですか。

「スポーツ教室情報」が43.6%と最も多く、次いで「施設の利用案内」が38.5%、「健康づくり」が35.4%となっています。



市内のスポーツ施設にどのようなことを望みますか。

「施設数の増加」が43.3%と最も多く、次いで「利用料金の引き下げ」が37.5%、「運動やスポーツ教室の充実」が33.9%となっています



2 今後の課題

焼津市を取り巻く現状や、市民のスポーツ実施状況や意向等の把握のために実施したアンケート調査から見えてきた課題を次のように整理します。

課題① 子どものスポーツへの関心向上と習慣の定着

市民へのスポーツに関するアンケートによると、週に1日以上スポーツを実施していないと答えた小学生が、その理由として多く挙げているものは「面倒くさいから」(40.6%)、「運動・スポーツが嫌いだから」(26.1%)でした。子どもの遊びが多様化していることや、ライフスタイルの変化が要因にあると考えられます。

子どもがスポーツに親しみながら主体的に運動する習慣を身に付けるため、地域や学校、保護者が協力して様々な運動や幅広いスポーツを体験することができる環境を整えることが必要です。

課題② 働く世代や女性のスポーツ機会の充実

市民へのスポーツに関するアンケートによると、運動やスポーツを行っていない、あるいは、行っているが思うようにできない理由として多く挙げているものは「仕事(家事・育児)や勉強が忙しく時間がないから」が36.5%でした。次いで「場所や施設がないから」(23.6%)、「お金がかかるから」(18.2%)と施設や費用面が主な理由として挙げられています。また、普段運動不足を感じる女性の割合は男性と比較すると15ポイントほど高いことが分かりました。

働く世代においては仕事との両立や時間的制約から、スポーツに取り組む機会が限定的であることや、女性においては家事・育児等による制約やスポーツに参加する社会的なハードルの高さが活動を妨げる要因のひとつとなっています。

働く世代や女性がスポーツを通じて健康を促進し、生きがいを見出す機会の充実が求められます。

課題③ 高齢者、障害のある人の健康づくりと生きがいづくり

高齢者や障害のある人が取り組めるスポーツを推進し、今後も継続してスポーツに取り組む環境を整えることは、健康や体力づくりだけでなく、仲間づくりや生きがいづくりにつながる重要なことです。

障害のある人も気軽にスポーツに参加できる環境を整える障害者スポーツ活動の推進や、障害の有無にかかわらず一緒に取り組むことができるスポーツを普及させることが必要です。

課題 ④ 施設整備と利用サービスの向上

これまで競技スポーツレベルの基準を満たした施設から地域における身近な施設まで、スポーツ活動に親しむことができる環境づくりに取り組んできましたが、施設の経年化が進んでいることや、市民アンケートで「施設数の増加」(43.3%)を求める声が多いことから多様なニーズを満たす施設の整備が求められています。市内のスポーツ施設が地域全体の健康づくりの拠点となるよう、市民のニーズ把握に取り組み、多様なライフスタイルに対応できる柔軟性のある施設整備や利用サービスの向上が課題です。

課題 ⑤ スポーツを通じた交流の機会の回復

スポーツは地域の活気を生み出し地域への誇りと愛着を持つことに加え、国際的なスポーツイベントは国内外からアスリートや観客が訪れ地域の観光振興につながります。

しかし、新型コロナウイルス感染症の流行により、約3年にわたり、あらゆる人と人との交流が減少しました。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行したポストコロナ時代では、コロナ禍により減少した交流の機会の回復が求められます。

課題 ⑥ スポーツを支える体制の強化

持続可能なスポーツ環境には、指導者やボランティアなどのスポーツを支える人材の活躍が不可欠です。地域で活躍するスポーツ関係団体や指導者の中には、更なる専門知識の習得や活動を広げることへの意欲が高いものの、資金面での課題や人材の不足により十分な活動ができていない現状があります。また、市民アンケートによると、およそ8割の市民がスポーツに関するボランティア活動を行っていないことから、スポーツを支える人材の確保・育成が必要となります。スポーツを支える人材の育成と支援体制の強化が課題です。

課題 ⑦ スポーツ関連情報の発信方法の工夫と充実

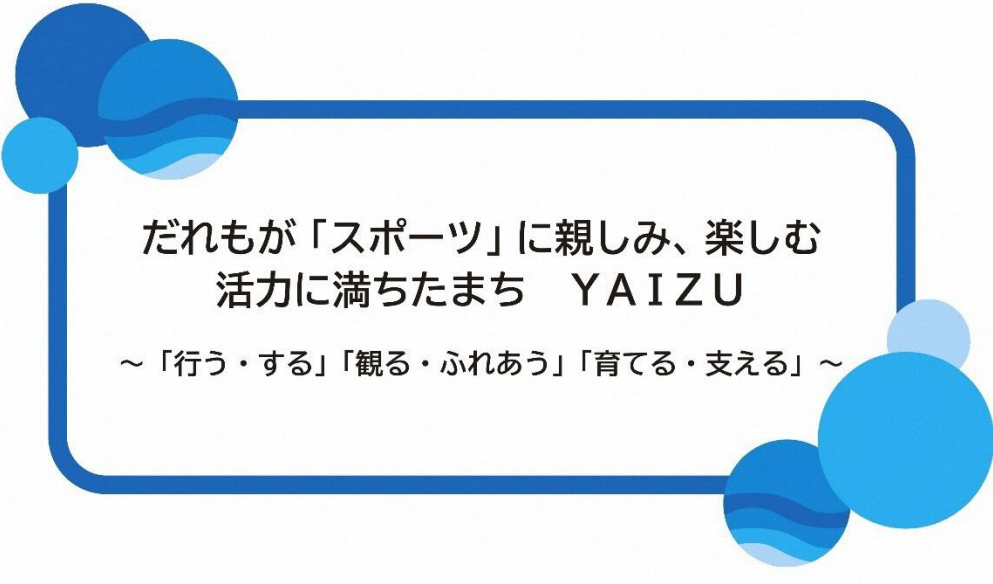
地域の健康づくりや交流を促進するため、市の広報紙やホームページなどでスポーツ関連情報の発信を行っているものの、現代では、情報の入手手段が多様化しているため、従来の発信方法だけでは十分な情報提供が難しいといえます。また、市民アンケートによると、スポーツに関する知りたい情報として「スポーツ教室情報」(43.6%)、「施設の利用案内」(38.5%)などのスポーツを実施する環境面での情報に加え、「健康づくり」(35.4%)に関する情報発信を求める声も多いことから、市民のニーズに応じた魅力的な情報の発信が求められています。

第3章

計画の基本的な考え方

1 基本理念

市民の誰もがいつでも、どこでもスポーツに親しむことができ、またスポーツを通じて健康で豊かな生活を送り、市全体が活気にあふれる、にぎわいのあるまちを目指します。



だれもが「スポーツ」に親しみ、楽しむ
活力に満ちたまち Y A I Z U

～「行う・する」「観る・ふれあう」「育てる・支える」～

2 基本方針

基本理念である『だれもが「スポーツ」に親しみ、楽しむ 活力に満ちたまち Y A I Z U～「行う・する」「観る・ふれあう」「育てる・支える」～』を目指し、次の4つの基本方針に基づき、計画を推進していきます。

基本方針1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

スポーツをすることは、心身の健全な発達や生活習慣病の予防、ストレス軽減や心身のリフレッシュなど心と身体の両面の健康につながります。

子どもの頃からの運動習慣の定着を図る取組を推進するとともに、働く世代や女性、高齢者や障害のある人をはじめ、多様なライフスタイルで暮らす人々がスポーツへの興味を持ち、スポーツ活動を行うことができるような取組を推進します。

また、スポーツを通じた交流により、地域社会の絆を深めるよう地域でのスポーツ普及に取り組みます。

基本方針2 市民満足度の高いスポーツ施設の提供

市民がスポーツを身近に感じ、地域に豊かなスポーツ文化を根付かせるためには、スポーツ施設の充実が不可欠です。

利用者の多様なニーズに柔軟に対応し、誰もが使いやすい環境を整えるとともに、施設を安心して安全に利用できるような施設整備を推進します。

基本方針3 夢を育み、スポーツ交流でにぎわうまちの創出

スポーツにより市民に活気があふれると、街の活性化に繋がります。スポーツで交流することで人々が一体感を感じ、結びつきや友情が生まれ、異なる文化や価値観を尊重する力も養われることから、多様な人がスポーツを通じて関わり合える機会の創出を図ります。

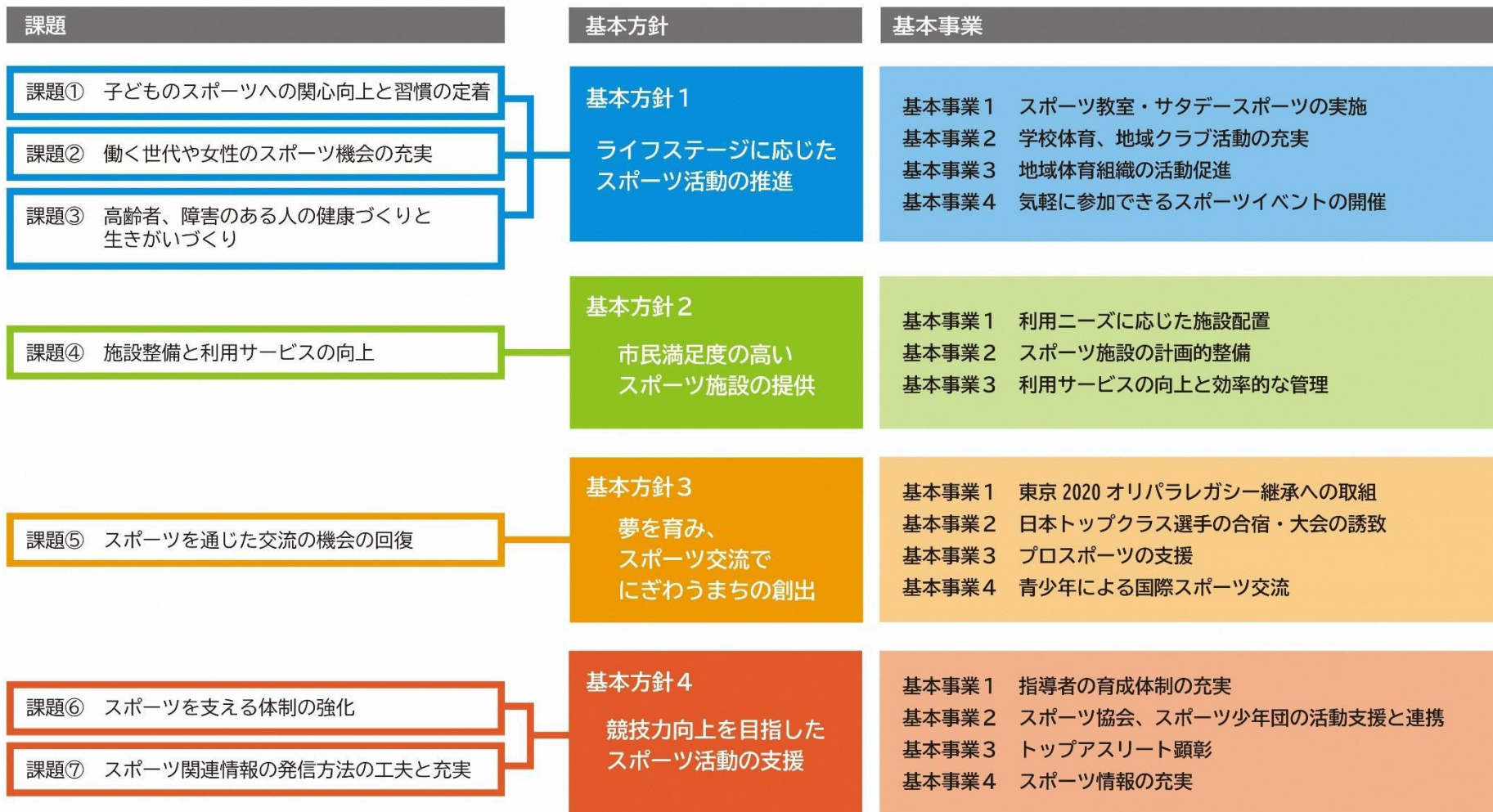
基本方針4 競技力向上を目指したスポーツ活動の支援

地域のスポーツ活動を発展させることは、スポーツをする人の競技力向上につながります。

スポーツ人材の育成や、地域組織との連携を通じてスポーツ活動の質を高めるとともに、全国レベルで活躍する選手の支援やスポーツイベント等の情報発信を推進します。

3 施策体系

基本理念：だれもが「スポーツ」に親しみ、楽しむ 活かに満ちたまち Y A I Z U
 ～「行う・する」「観る・ふれあう」「育てる・支える」～



4 目標値

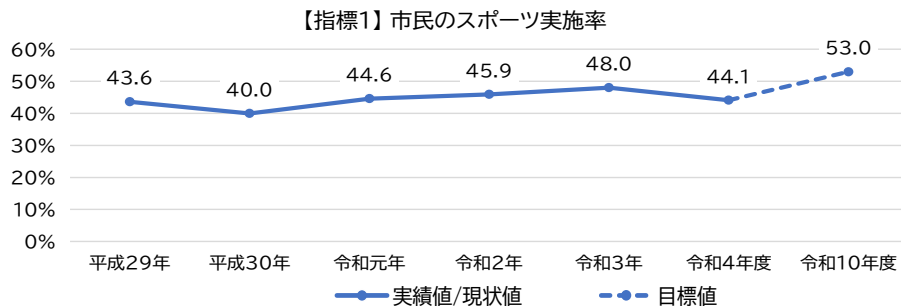
基本理念の実現に向けて設定された目標値と現状値は次のようになっています。

指 標	実績値	現状値	目標値
	※1平成 29 年度 ※2平成 30 年度	令和 4 年度	令和 10 年度
1 市民のスポーツ実施率※1	43.6%	44.1%	53.0 %
2 スポーツ交流人口※2	59万人	46.2 万人	108 万人

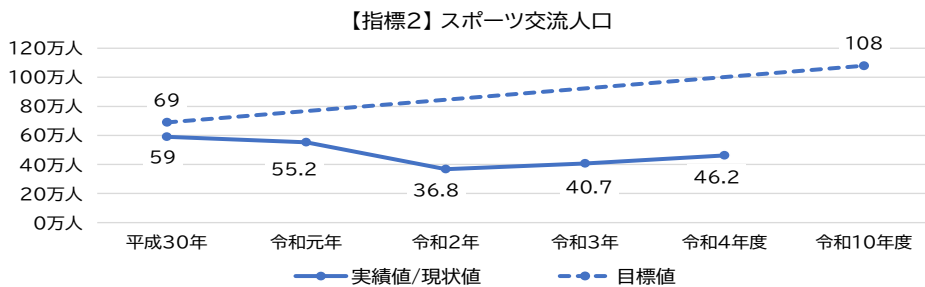
※1 スポーツ実施率は週1回以上スポーツに取り組んだ人の割合

※2 スポーツ交流人口は、市民スポーツに参加する人やプロスポーツを観戦する人など

「市民のスポーツ実施率」は、平成 29（2017）年度は 43.6%でしたが、令和 4（2022）年度には 44.1%でした。新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業や大会等は複数年にわたり自粛が続いていましたが、コロナ禍においても、個人によるスポーツ活動は継続されていることが伺えます。ただし、目標の達成には更なる取組の強化が必要です。



「スポーツ交流人口」は、平成 30（2018）年度は 59 万人でしたが、令和 4（2022）年度には 46.2 万人となり、数値が後退しています。新型コロナウイルス感染症の影響による事業やイベントの中止等が重なったことで、スポーツを通じた交流に関する取組が低調となっていると考えられます。目標の達成にはポストコロナ時代におけるスポーツを通じた交流機会の回復が求められます。



第4章

施策の取組

基本方針1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

基本事業1 スポーツ教室・サタデースポーツの実施

幼少期の運動は、身体が刺激を受けることにより成長の発達を促すとともに心の成長も期待できます。また、スポーツ実施率が低い働く世代や女性をはじめ、多様なライフスタイルで暮らすすべての人々が、いつでも気軽に日々の体力づくりや健康づくりに取り組み、ストレスの軽減や心身のリフレッシュの機会となるような取組を促進します。

取組名	内容
スポーツ教室の開催	気軽にスポーツに取り組むきっかけづくりとして、幼児から高齢者まで各年齢層に応じたスポーツ教室を開催します。 また、女性や高齢者などの対象を限定した教室の開催により、参加者のニーズに合った運営を行います。
サタデースポーツの開催	スポーツを始めるきっかけとして、また、新たなスポーツにチャレンジする機会として、気軽にできるレクリエーション的なスポーツ（ニュースポーツ）などを中心に、多種多様な種目によるサタデースポーツを開催します。 各種目に専門の指導者を配置することにより、幼児・小学生からシニアの方、親子でも安心して参加できるよう取り組みます。

(写 真)

(写 真)

基本事業2 学校体育、地域クラブ活動の充実

学齢期における運動やスポーツは、体力の向上とともに心身の健全な発育・発達に寄与することから、子どもの頃から身体を動かす楽しさやスポーツがもたらす喜びを味わうことのできる機会の充実を図ります。

取組名	内容
学校体育の充実	<p>体育授業において、子どもたちが心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指します。</p> <p>具体的には、運動やスポーツの価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点からとらえ、自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けながら、以下の力について、育成を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none">・運動やスポーツに親しむとともに体力の向上を目指そうとする態度・各種運動やスポーツの基本的な動きや技能・課題を見つけ、仲間とともに解決する力
地域クラブ活動・運動部活動支援事業	<p>本市では、令和3（2021）年度より学校部活動から地域クラブ活動への段階的移行を進めています。子どもたちのニーズに応じた多様な活動と専門的な指導を受ける場となる地域クラブ活動の設立とともに、学校部活動の目的である「心身の健やかな成長と主体性の育成」を踏まえた理念を有するクラブの自立的・持続的な運営に向けた支援、また、地域クラブ活動移行までの運動部活動について支援を図ります。</p>

(写 真)

(写 真)

基本事業3 地域体育組織の活動促進

スポーツを通じた交流や地域の学校体育施設の活用により、自治会単位で地域のスポーツ普及を図るとともに、地域社会の結束の強化と地域への愛着を育みます。

取組名	内容
スポーツ推進委員	<p>スポーツ推進委員は、スポーツ基本法に基づき、スポーツ推進のための事業の実施や連絡調整並びに市民に対するスポーツ実技の指導及び助言を行っています。</p> <p>本市では、各自治会からの選出と市の推薦により、最大 54 人の委員を任命し、毎月の定例会や自主的な活動によりスポーツの振興に努めており、市と相互に協力しスポーツ事業の推進に努めます。</p>
地域体育組織連絡協議会	<p>健康でたくましい市民の育成とより明るく豊かなまちを目指し、地域スポーツの振興と地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的として、地域の体育組織を中心に組織された「焼津市地域体育組織連絡協議会」の運営に協力し、地域のスポーツ振興を促進します。</p>
学校体育施設の夜間開放	<p>学校体育施設の活用については、スポーツ基本法において「学校の教育に支障のない限り、当該学校のスポーツ施設を一般のスポーツのための利用に供するよう努めなければならない」旨が規定されており、地域スポーツの場として、地域住民の方々の健康増進やコミュニティづくりを推進する施設として、夜間開放事業による利用促進に取り組みます。</p>

(写真)

(写真)

基本事業4 気軽に参加できるスポーツイベントの開催

日常的にスポーツに親しむことができる機会の充実を図り、生涯における健康の維持と、体力の維持管理に努めるきっかけとなるように取り組みます。

取組名	内容
焼津みなとマラソン大会	<p>気軽に始めることができるジョギングやマラソンにおいては、全国に多くのランナーがいます。</p> <p>焼津みなとマラソンを大学対抗ペアマラソンや焼津みなとまつりと同時開催することでスポーツ都市焼津のPRと焼津市の魅力の発信につなげます。</p> <p>また、障害者部門の導入も計画的に進め、市民の障害者スポーツの認知度向上を図ります。</p>
市民トリム大会	<p>身体への負担が少なく、普段運動をしていない人でも抵抗なく参加できるウォーキングやハイキングは、継続することにより自然に体力向上、健康維持につながります。</p> <p>ウォーキングやハイキングのきっかけづくりとして、本市の自然豊かな環境を活かしたトリム大会を開催し、高齢者や初心者コースなど各自の体力に応じて楽しめる大会を目指します。</p>
市民スポーツ祭	<p>スポーツ協会加盟の各競技団体が、それぞれの競技種目を通して競技力の向上を図り、また交流の輪を広げています。スポーツ都市の実現に向け、交流人口の拡大とともに競技的な能力の高い選手の発掘等を目的とし、多くの市民が参加できる市民スポーツ祭を開催します。</p>
大人の体力測定会・シニアの体力測定会	<p>体育・スポーツ活動の基礎資料を得ることを目的として体力測定会を行います。</p> <p>特に高齢者は、年齢による体力の低下が怪我や病気につながることもあり、自身の健康管理の指標となるよう、シニア測定会を開催します。</p>
水に親しむ集い	<p>障害のある人をはじめ、誰でも参加できる水泳大会を開催します。</p> <p>参加者の成果発表の場を設け、活動のやりがいづくりにつなげるとともに、水泳を通じた交流の推進やスポーツボランティアの活動の場の創出を図ります。</p>

取組名	内容
地域交流スポーツ祭	<p>地域でのスポーツ振興や交流促進を図るとともに、その成果を発揮する場として、地域交流スポーツ祭を開催します。高齢者や親子、また、障害のある人も参加できる種目を取り入れ、誰でも、手軽に、楽しく取り組めるようにします。</p>
土岐市スポーツ姉妹都市交流	<p>スポーツ姉妹都市を締結している、岐阜県土岐市との間では、これまでに両市併せて、延べ7万人を超える市民が、スポーツを通してお互いの交流を図っています。</p> <p>少年団や高齢者も含めた各種競技による交流事業を交互に開催するなど、スポーツを通じた親睦と教育・文化の発展を目指し交流事業を促進します。</p>

(写 真)

(写 真)

基本方針2 市民満足度の高いスポーツ施設の提供

基本事業1 利用ニーズに応じた施設配置

スポーツ施設に求められる利用ニーズに対応し、規模や機能などにより次の3つに機能レベルを区分して、それぞれの機能レベルに応じた施設運用により有効的な利用を促進します。

利用ニーズ		機能レベル	施設名
市民スポーツ	競技スポーツ	プロスポーツ 公認大会	・総合グラウンド 総合体育館
		全国・東海地区 レベルの大会が 開催可能	・総合グラウンド野球場 ・マラソンコースリバティ
	市民スポーツ	市内・志太地区 レベルの大会が 開催可能	・総合グラウンド 陸上競技場 ・大井川河川敷運動公園 陸上競技場 スポーツ広場 ・ディスカバリーパーク 焼津水夢館 ・焼津体育館 ・大井川体育館 ・飯淵グラウンド ・漁船員テニス場 ・総合グラウンドテニス場
地域スポーツ		地域・自治会体 育活動及び日常 的に気軽に市民 が利用できる	・小中学校体育館 ・小中学校グラウンド ・公民館 ・一色水道用地 ・田尻スポーツ広場

基本事業2 スポーツ施設の計画的整備

スポーツ施設が市民の健康増進や交流の拠点となるように、既存施設の再整備や改修を行うとともに、多様化する競技やライフスタイルに合わせた施設整備について検討します。

また、利用者の多様性を考慮し、高齢者や障害のある人など、誰もが利用しやすい施設にするため、施設のバリアフリー化等を推進します。

取組名	内容
焼津体育館の再整備	<p>■公共施設マネジメントでの位置づけ 再編が必要な施設の「モデル事業」に位置づけられており、個別再編プランに基づき行動計画を進めます。</p> <p>■施設計画 供用開始後 50 年以上が経過し、設備の老朽化や耐震性能が問題とされていますが、現在でも非常に利用率が高く、スポーツの振興を図るうえで重要な役割を担っていることから、新たな市民スポーツの拠点として再整備を行います。</p>
総合グラウンド陸上競技場の改修	<p>■公共施設マネジメントでの位置づけ 再編が必要な施設の「建物・機能の統合・集約等」に位置づけられており、耐震性能が劣る陸上競技場スタンドについて耐震工事に取り組みます。</p> <p>■施設計画 耐震改修工事により耐震対策を図ることとし、併せて設備の更新等も行います。</p>
学校体育施設の方向性	<p>学校の体育施設や設備の更新について、体育館及びグラウンドについては、施設の利用に支障が生じないよう、現施設の維持修繕を図り、地域スポーツの場として活用してまいります。プールについては、水泳授業での市営プールの活用を併せて検討します。</p>
公園等の多目的利用	<p>誰でも気軽に利用できる公園・広場などについては、施設の規模や利用形態によって様々な活用方法ができ、少人数によるレクリエーションスポーツでの利用も考えられます。</p> <p>特に大規模な公園・広場については、公園機能、防災機能に加え競技スポーツでの利用も想定します。</p>
施設整備調査検討	<p>オリンピックにおいて、新たな競技種目が採用されるなど、スポーツへのニーズが広がりを見せており、多様なスポーツに対応できる施設整備が今後課題となることが想定されるため、現状の施設や新たな施設による整備について調査研究に取り組みます。</p>

基本事業3 利用サービスの向上と効率的な管理

利用者のニーズに対応した利用制度の運用に加え、プロスポーツ等の招致を行うことができるよう、施設の効率的な管理運営を促進します。

取組名	内容
施設利用の向上	施設利用者の利便性向上を目的とし、スマートフォンやパソコンからスポーツ施設の予約や空き状況の確認ができるよう公共施設予約システムの運用を行います。また、施設使用料等の支払いについてもニーズに合わせた多様な手段の導入を検討します。
施設優先予約	競技スポーツとしての拠点施設では、全国レベルの大会などの開催が可能であり、大会レベルが高いほど開催スケジュールが早く決定されます。全国レベル、東海地区レベル以上の大会、日本トップクラスの合宿の積極的招致を目的に、3年先まで優先権を保有できるものとします。
施設使用料の減免措置	スポーツ施設を利用するにあたっては、受益者負担の観点から条例に基づき使用料を徴収しています。教育活動や青少年の健全育成、地域スポーツ、障害者スポーツなど公益性の高い活動においては施設使用料の減免を行います。
利用者登録制度	施設をより多くの市民が利用できるよう、個人利用ができる施設と団体で利用する施設の区分を行うとともに、利用者登録制度を設け効率的な利用促進を図ります。

(写真)

(写真)

基本方針3 夢を育み、スポーツ交流でにぎわうまちの創出

基本事業1 東京2020オリパラレガシー継承への取組

「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」においてはホストタウンとしての活動により、市民が大会そのものを身近に感じることができ、大会や選手へ多くの関心を寄せ、市全体の一体感を得ることができました。このようなプラスの影響を地域や市民に持続的に残すため、ホストタウン相手国との交流を継続します。

取組名	内容
ナショナルチームの事前キャンプ受入れ	「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」のホストタウン相手国であるモンゴル国との様々な交流活動を継続するため、ナショナルチームによる日本国内での国際大会参加に対して、事前キャンプ地として協力するとともに、積極的な情報発信や、市民との交流を実施します。

(写真)

(写真)

基本事業2 日本トップクラス選手の合宿・大会の誘致

市民のスポーツに対する関心を高めるため、国内トップクラスの選手による合宿・大会を積極的に受入れ、トップアスリートが活躍する姿を身近に感じることができる機会を提供します。

取組名	内容
国内トップクラス選手の合宿・大会等誘致	<p>オリンピック・パラリンピック競技大会など、世界レベルの大会出場を狙う国内トップクラスの選手による合宿・大会を積極的に受入れ、市民がトップアスリートの取り組む姿を身近に感じること、スポーツに対する関心を高めることができるよう取り組みます。</p> <p>また、本市をスポーツ都市としてアピールするため、大会や合宿の情報発信を積極的に行います。</p>

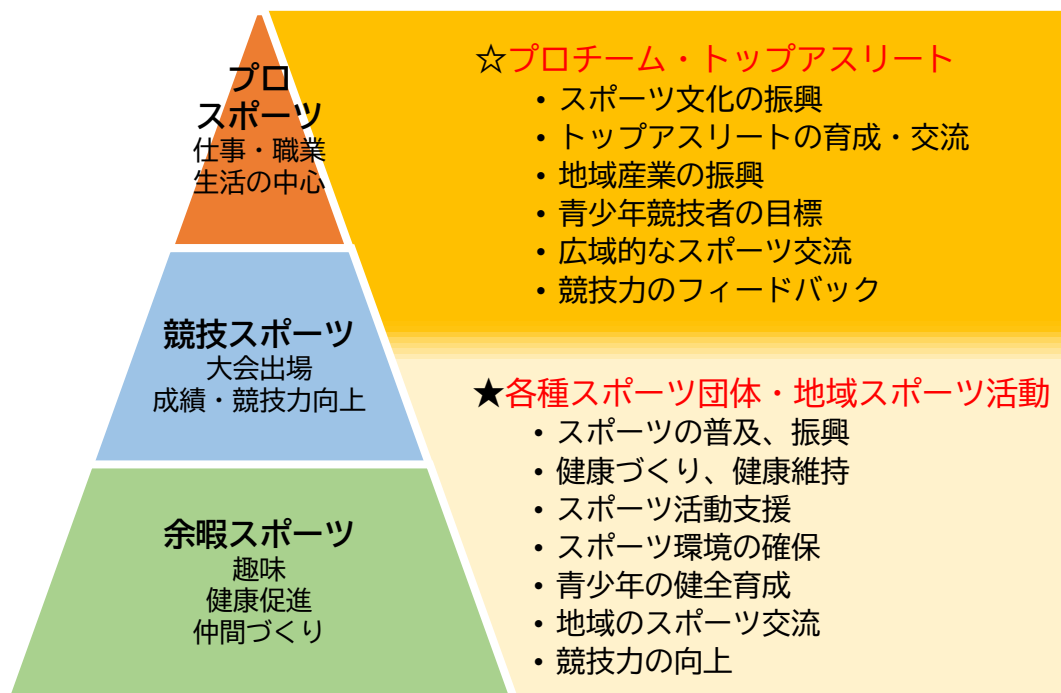
(写真)

(写真)

基本事業3 プロスポーツの支援

競技力の高い選手やチームが活躍する姿は、市民に勇気と感動を与えるとともに、観客同氏が一体感を持ち社会的な結束感を醸成することにつながることから、プロスポーツの支援を積極的に行います。

取組名	内容
3x3 チーム活動支援	<p>プロチームによる市内の活動は競技力の向上、交流機会の増加、更には地域の活性化にもつながるなど、様々な効果が期待されることから、本市を拠点とする3x3プロバスケットボールチームのリーグ参戦やリーグ戦の誘致を支援していきます。</p> <p>また、トップリーグの試合を本市で開催することで、全国から観戦者が訪れるため、スポーツを通じた交流はもちろんのこと、文化・観光などの魅力も発信し「にぎわいのあるまちづくり」を推進します。</p>
プロスポーツチームの活動連携	<p>本市が連携するサッカーやラグビーのプロスポーツチームとの活動連携により、競技力の高いプロスポーツの観戦や、プロスポーツチームによる体験教室を実施し、スポーツへの関心を高めるとともに、交流の輪を広げます。</p> <p>多くの市民がプロスポーツを身近に感じることが出来る機会の創出を図ります。</p>



基本事業4 青少年による国際スポーツ交流

次世代を担う子どもたちがスポーツを通じて異なる文化や価値観に触れ、国際的な感覚を養うことのできる教育的な機会を提供します。

取組名	内容
モンゴル国青少年スポーツ交流	次世代を担う青少年が異なる文化や価値観を持つ仲間と国際的な交流を行い友情を育むことは、価値観の相互理解や多様性を養うことにつながり、豊かな人間性の育成に大きく寄与します。 「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」を契機とするモンゴル国のスポーツ交流により、スポーツを通じた国際交流を推進します。

(写 真)

(写 真)

基本方針4 競技力向上を目指したスポーツ活動の支援

基本事業1 指導者の育成体制の充実

スポーツを支える人材を増やし、持続可能なスポーツ環境をつくるため、スポーツ指導者などの人材の育成を行う団体への支援を行うとともに、多様なスポーツに対応できる人材の充実のため指導者の資質向上に努めます。

取組名	内容
スポーツ少年団の指導者育成支援	スポーツ少年団は、青少年の体力向上、競技力向上とともに次世代を担う人材を育成することを目的としています。専門的な技術指導等に加え、人格形成など多面的な指導が求められているため、指導者の資質向上に向けた講習会などの開催を支援するとともに、スポーツ指導者などの人材育成を支援します。
地域スポーツの指導者育成	地域でのスポーツ振興を図るうえでは、地域住民と積極的に交流を図るとともに、スポーツ経験の少ない参加者への指導も必要となります。 地域の指導者（人材）を育成するため、スポーツ推進委員、自治会体育委員など各地域のスポーツ関係者を対象とした実技講習会などを開催し資質向上に努めます。

(写 真)

(写 真)

基本事業2 スポーツ協会、スポーツ少年団の活動支援と連携

地域スポーツ振興を推進するため、スポーツ協会・スポーツ少年団との連携・協力を強化し、地域や学校、関係団体とのコーディネート役としての役割を確立させるとともに、組織の効果的な運営を支援します。

取組名	内容
<p>スポーツ協会の活動支援と連携</p>	<p>焼津市スポーツ協会では、市民の体力と健康増進を図るため、加盟競技団体及びスポーツ関係機関と連携を図り、市民へのスポーツの普及を推進し、健康でたくましい市民の育成と、より明るく豊かなまちを目指しています。</p> <p>毎年5月に行われる「市民スポーツ祭総合開会式」を皮切りに、協会加盟の競技団体が主体的に実施する「市民スポーツ祭」や、1月に行われる「焼津市駅伝競走大会」の運営をしています。</p> <p>また、市と連携して市民スポーツの振興と普及に向けた各種スポーツ事業を実施しており、市が委託する「スポーツ教室」「サタデースポーツ」事業の運営や、春の恒例行事となった「焼津みなとマラソン大会・大学対抗ペアマラソン大会」においては、実行委員会の中心組織として事業に取り組むなど、スポーツ都市を宣言した本市にとって重要な役割を担っています。</p> <p>このように、スポーツ協会による活動は市民の健康維持、体力・競技力の向上に欠かせないものであり、円滑に遂行されなくてはならないため、その支援をしていくとともに、協会加盟の各団体が実施する活動に対しても、ソフト・ハードの両面から充実が図れるよう引き続き連携を図ります。</p>
<p>スポーツ少年団の活動支援</p>	<p>スポーツ少年団が実施する活動は、子どもたちの体力向上、競技力向上とともに次世代を担う人材を育成する重要な役割を持っています。競技に取り組む青少年に夢や希望、友情などを育む機会を提供しています。</p> <p>小学校区でのチーム、市全体からなるチームなど、それぞれのチームに応じた支援や、交流大会による各団の交流促進をはじめ、楽しさや新たな夢、希望を育むことを目的とした事業などを支援します。</p>

基本事業3 トップアスリート顕彰

スポーツ分野において活躍した個人及び団体や、市内スポーツの発展に尽力した個人を表彰することで、市民のスポーツに対する意欲の向上と、競技力の向上を図ります。

取組名	内容
スポーツ賞の表彰	<p>世界レベルや全国レベルのスポーツ大会で、優秀な成績を収めたトップアスリートや、選手の育成指導や競技の発展に顕著な功績のあった個人を対象として「焼津市スポーツ賞表彰規程」に基づき表彰・顕彰し、その栄誉、功績を称えるとともに、多くの競技者の目標となるよう情報発信に努め、広く周知します。</p> <p>また、大会の多様化に対応し、世界大会や全国大会で活躍した選手を幅広く顕彰するため、表彰規程の見直しを検討します。</p>
全国大会等出場者報奨金	<p>地区予選等を経て、全国大会又は国際大会に出場した個人又は団体に対し、その貢献や努力を奨励するため報奨金を交付します。</p>

(写真)

(写真)

基本事業4 スポーツ情報の充実

スポーツが市民にとって親しみやすく身近な存在となるよう、誰もが入手しやすい手段やコンテンツを通じてスポーツの魅力を発信します。

取組名	内容
広報やいづからの情報提供	市民に広く市内スポーツ事業に関する情報を提供し、各種スポーツ事業への参加を促すとともに、スポーツへの関心度を高めるため、「広報やいづ」による情報提供を行います。
市ホームページ・LINEの活用	いつでもどこでも手軽に情報収集が可能なスマートフォンの利用が普及に対応し、市のスポーツ事業の情報が迅速に発信できるよう、市のホームページやLINE配信を利用した情報提供に努めます。
焼津 CITY チャンネル (YouTube) による動画配信	市民へ地元選手の活躍を広く広報し、選手の活動を応援してもらうことを目的とし、表敬訪問で訪れた選手に「やいちゃんヒーローインタビュー」を実施し、動画を焼津 CITY チャンネル (YouTube) にて公開しています。

(写 真)

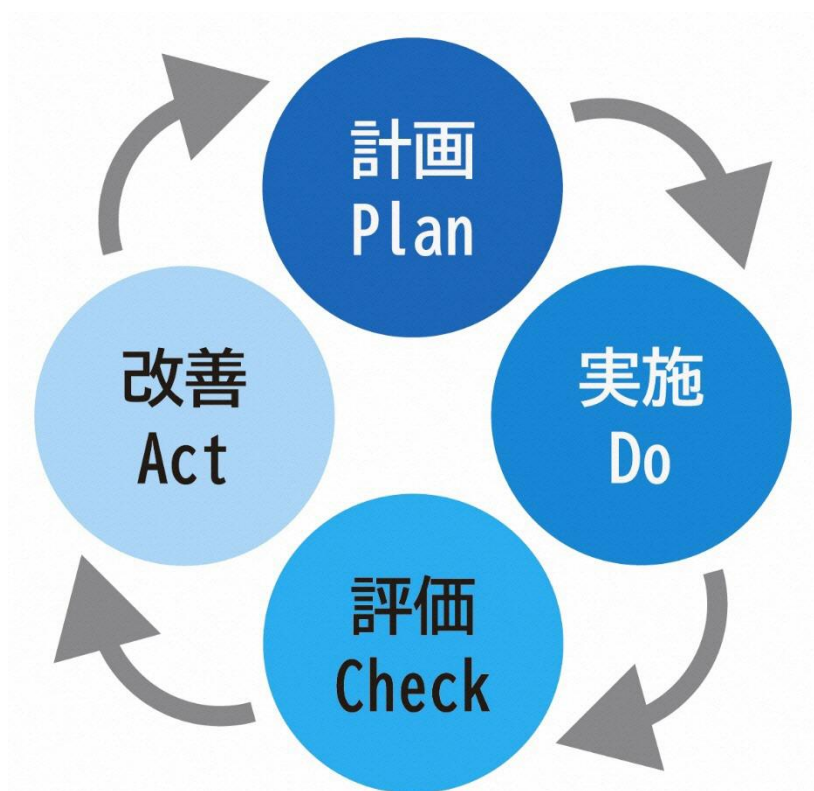
(写 真)

第5章

計画の推進にあたって

1 計画の推進

基本理念の『だれもが「スポーツ」に親しみ、楽しむ 活力に満ちたまち Y A I Z U ～「行う・する」「観る・ふれあう」「育てる・支える」～』の実現に向け、基本事業の進行管理にあたっては、計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）のサイクルにより進捗状況や成果を把握するとともに、内容について継続的に点検し、必要に応じて改善を図ります。



2 実施進捗の評価と情報収集

(1) 実施進捗の調査と評価

毎年、本計画に基づき、スポーツ推進に関する施策の実施状況を取りまとめ、報告を行うことで、目標値の達成度を評価します。

(2) 計画に関する情報の収集・調査研究

計画を効果的に推進するために、市民意識調査や各種アンケートなどの実態調査を行うとともに、スポーツに関する情報収集、調査及び研究を行います。

資料編

1 スポーツ教室参加状況（2022年度／令和4年度）

スポーツ教室

教室名（コース）		定員	第1期	第2期	第3期	計
女性体操	火曜	100	56	57	60	173
	木曜	70	30	31	28	89
	金曜	60	45	42	42	129
親子体操	水曜	60	32	26	12	70
	木曜	30	14	12	12	38
	金曜	35	22	38	42	102
よちよち体操		60	30	34	32	96
幼児体操	火曜年中児	50	13	19	20	52
	水曜年長・年長児	50	24	25	26	75
	木曜年長児	50	17	17	17	21
	木曜年少・年中児	30	17	16	15	48
	土曜年長児	30	28	25	26	79
小学生 体操	木曜低学年	20	17	19	18	54
	土曜低学年	30	27	30	30	87
新元氣 世代	火曜	60	36	36	30	102
	木曜	40	13	13	14	40
アクティブトレーニング		60	8	8	8	24
シニア 体操	木曜	70	33	37	38	108
	金曜A	60	50	62	61	173
	金曜B	60	36	36	35	107
リズムフィットネス		70	32	34	32	98
ヨガ		30	7	14	19	40

2 サタデースポーツ参加状況（2022年度／令和4年度）

サタデースポーツ

月 日	会場・種目	人数（小計）	人数（合計）
4月16日	シーガルドーム（ニュースポーツ）	24	43
	焼津体育館（フットサル）	19	
5月14日	シーガルドーム（ニュースポーツ）	16	43
	焼津体育館（フットサル）	27	
6月11日	焼津体育館（フットサル）	26	26
7月23日	シーガルドーム（ニュースポーツ）	13	36
	焼津体育館（フットサル）	23	
8月20日	シーガルドーム（ニュースポーツ）	33	53
	焼津体育館（フットサル）	20	
9月17日	焼津体育館（フットサル）	14	42
9月24日	シーガルドーム（ニュースポーツ）	28	
10月8日	シーガルドーム（ニュースポーツ）	37	55
10月15日	焼津体育館（フットサル）	18	
11月12日	シーガルドーム（ニュースポーツ）	41	60
	焼津体育館（フットサル）	19	
12月10日	焼津体育館（フットサル）	23	71
12月17日	シーガルドーム（ニュースポーツ）	48	
1月7日	シーガルドーム（ニュースポーツ）	45	72
1月14日	焼津体育館（フットサル）	27	
2月18日	焼津体育館（フットサル）	21	21
3月18日	シーガルドーム（ニュースポーツ）	51	51
		合計	573

3 スポーツ少年団登録状況（2022年度／令和4年度）

種目別登録状況

(人)

種目	団数	男	女	計	指導者
剣道	1	6	4	10	5
柔道	3	38	15	53	14
空手道	4	80	39	119	16
水泳	3	23	22	45	13
サッカー	5	132	12	144	36
バレーボール	10	38	101	139	44
野球	11	183	25	208	72
ミニバスケットボール	2	19	30	49	20
レスリング	1	23	13	36	4
ドッジボール	1	16	11	27	8
卓球	1	14	9	23	7
テニス	1	16	33	49	4
複合	1	10	19	29	11
計	44	598	333	931	254

4 スポーツ施設設置状況（学校体育施設を除く）

施設名		所在地	建設年月
総合グラウンド	総合体育館	保福島 1050	H3.6
	野球場	保福島 950-1	S52.9
	陸上競技場		S54.3
	テニス場		S54.3
焼津体育館		焼津 2-7-3	S39.12
大井川体育館		中島 1183	S61.2
青峯プール		小川 3812-10	S57.3
ディスカバリーパーク焼津水夢館		田尻 2968-1	H9.7
漁船員テニス場		中港 5-20	S61.9
田尻スポーツ広場		田尻 2058	S49.3
一色水道用地		一色 1043	S50.3
関方社会教育広場		関方 116	S47.12
市営相撲場		焼津 2-7-3	S56.8
飯淵グラウンド		飯淵 1244	S55
吉永自由広場		吉永 491-1	H6
藤守浜スポーツ広場		藤守 2236-1	S49
大井川河川敷 運動公園	陸上競技場	西島 538	H14
	スポーツ広場	相川・西島地先	S57

5 学校体育施設夜間開放利用状況(2022年度／令和4年度)

学 校 名	体育館		グラウンド	
	団体数	人 数	団体数	人 数
焼津東小学校	286	4,467	－	－
焼津西小学校	285	5,136	54	1,766
焼津南小学校	103	1,982	－	－
豊田小学校	302	4,137	37	1,241
小川小学校	259	3,952	－	－
東益津小学校	225	3,222	－	－
大富小学校	147	1,857	－	－
和田小学校	216	2,312	－	－
港小学校	393	4,848	0	0
黒石小学校	254	4,158	－	－
大井川東小学校	224	6,277	57	599
大井川西小学校	261	5,062	53	1,668
大井川南小学校	205	3,351	49	1,737
焼津中学校	416	6,114	88	4,918
大村中学校	389	4,709	33	897
豊田中学校	400	4,857	12	274
小川中学校	342	5,362	12	454
東益津中学校	377	5,676	－	－
大富中学校	462	5,878	39	1,833
和田中学校	471	5,503	－	－
港中学校	512	5,877	0	0
大井川中学校	819	11,598	158	6,752

6 スポーツ施設機能レベル（競技種目・施設別）

屋内施設

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ国際	全国大会	県大会	市内大会	地域市民利用	夜間利用	合宿
A		総合体育館 (シーガルドーム)							
	バスケットボール	メイン3面 サブ1面	○	○	○	○	○	○	○
	バレーボール	メイン4面 サブ1面	○	○	○	○	○	○	○
	バドミントン	メイン12面 サブ3面	○	○	○	○	○	○	○
	レスリング	マット4面	○	○	○	○	○	○	○
	空手	マット8面	○	○	○	○	○	○	○
	剣道	8面		○	○	○	○	○	○
	太極拳	マット1面		○	○	○	○	○	○
	卓球	51台	○	○	○	○	○	○	○
	テニス (含ソフトテニス)	メイン3面 サブ1面		○	○	○	○	○	○
	バウンドテニス	メイン12面 サブ3面		○	○	○	○	○	○
	軽スポーツ						○	○	○
	フットサル (興行)	メイン1面	○						
		トレーニングルーム (トレーニング機器18台)					○	○	
		ランニングコース (1周=200m)					○	○	
B		焼津体育館							
	バスケットボール	2面				○	○	○	○
	バレーボール	2面				○	○	○	○
	バドミントン	4面				○	○	○	○
	卓球	10台				○	○	○	○
	武道全般					○	○	○	○
	相撲	1面 練習場2面			○	○	○	○	○
	軽スポーツ						○	○	○

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ 国際	全国 大会	県 大会	市内 大会	地域 市民 利用	夜間 利用	合宿
B		大井川体育館							
	バスケットボール	1面				○	○	○	○
	バレーボール	2面				○	○	○	○
	バドミントン	6面				○	○	○	○
	卓球	15台				○	○	○	○
	武道全般					○	○	○	○
	軽スポーツ					○	○	○	○
C		焼津東小学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6人制）					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		焼津西小学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6人制）					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		焼津南小学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6人制）					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		豊田小学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6人制）					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		小川小学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6人制）					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ国際	全国大会	県大会	市内大会	地域市民利用	夜間利用	合宿
C		東益津小学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6人制）					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		大富小学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6人制）					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		和田小学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6人制）					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		港小学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6人制）					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		黒石小学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6人制）					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		大井川東小学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6人制）					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ国際	全国大会	県大会	市内大会	地域市民利用	夜間利用	合宿
C		大井川西小学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6人制）					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		大井川南小学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6人制）					○	○	
	バドミントン	3面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		焼津中学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6・9人制）					○	○	
	バドミントン	4面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
	卓球	卓球場 10台							
C		大村中学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6・9人制）					○	○	
	バドミントン	4面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		豊田中学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6・9人制）					○	○	
	バドミントン	4面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		小川中学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6・9人制）					○	○	
	バドミントン	4面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ 国際	全国 大会	県 大会	市内 大会	地域 市民 利用	夜間 利用	合宿
C		東益津中学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6・9人制）					○	○	
	バドミントン	4面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		港中学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6・9人制）					○	○	
	バドミントン	4面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		大富中学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6・9人制）					○	○	
	バドミントン	4面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		和田中学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6・9人制）					○	○	
	バドミントン	4面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
C		大井川中学校体育館							
	バスケットボール	2面（ミニバス）					○	○	
	バレーボール	2面（6・9人制）					○	○	
	バドミントン	4面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
	卓球	卓球場 2台							
C		大井川中学校格技場							
	柔道	1面					○	○	
	剣道	1面					○	○	
	空手	1面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ 国際	全国 大会	県 大会	市内 大会	地域 市民 利用	夜間 利用	合宿
C		和田公民館大集会室							
	バスケットボール	2面					○	○	
	バレーボール	2面(6・9人制)					○	○	
	バドミントン	4面					○	○	
	軽スポーツ						○	○	
	卓球								
C		小川公民館大集会室							
	軽スポーツ						○	○	
	卓球						○	○	
C		大富公民館大集会室							
	軽スポーツ						○	○	
	卓球						○	○	
C		大村公民館大集会室							
	軽スポーツ						○	○	
	卓球						○	○	
C		大井川公民館集会室							
	軽スポーツ						○	○	
C		港公民館大集会室							
	軽スポーツ						○	○	
	卓球						○	○	
C		東益津公民館集会室							
	軽スポーツ						○	○	
	卓球						○	○	
C		豊田公民館大集会室							
	軽スポーツ						○	○	
	卓球						○	○	

屋外施設〈野球〉

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ 国際	全国 大会	県 大会	市内 大会	地域 市民 利用	夜間 利用	合宿
A	硬式・軟式	総合グラウンド野球場		○	○	○	○	○	○
B	軟式	飯淵グラウンド				○	○	○	○
B	A~E 少年団 F 軟式	大井川河川敷運動公園 (A. B. C. D. E. F)				○	○		○
C	硬式(中学)	一色水道用地					○		○
C	軟式(少年団)	田尻スポーツ広場				○	○	○	○
C	軟式(夜間)	焼津中学校グラウンド					○	○	
C	軟式(夜間)	港中学校グラウンド					○	○	
C	軟式(少年団)	豊田小学校グラウンド					○	○	
C	軟式(少年団)	港小学校グラウンド					○	○	
C	軟式(少年団)	港中学校グラウンド					○	○	
C	軟式(少年団)	大富小学校グラウンド					○		
C	軟式(少年団)	石脇公園					○	○	
C	軟式(少年団)	大覚寺(西園)グラウンド					○	○	
C	軟式(少年団)	中公園					○	○	
C	軟式(少年団)	清見田公園					○	○	
C	軟式(少年団)	小川公園					○	○	
C	軟式(少年団)	中根公園					○	○	
C	軟式(少年団)	松原公園					○	○	
C	軟式(少年団)	田尻北公園					○	○	
C	軟式(少年団)	八楠公園					○	○	

屋外施設〈サッカー〉

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ 国際	全国 大会	県 大会	市内 大会	地域 市民 利用	夜間 利用	合宿
A		総合グラウンド陸上競技場 (天然芝)		○	○	○	○	○	○
A	多目的C 少年用	大井川河川敷運動公園 (天然芝：陸上競技場・ 多目的B、C) (クレー：サッカー場 A、B)		○	○	○	○		○
B		石津浜公園サッカー場			○	○	○	○	○
C		田尻スポーツ広場(クレー)					○	○	
C		焼津西小学校グラウンド (クレー)					○	○	
C		豊田小学校グラウンド (クレー)					○	○	
C		港小学校グラウンド(クレー)					○	○	
C		大井川東小学校グラウンド (クレー)					○	○	
C		大井川西小学校グラウンド (クレー)					○		
C		大井川南小学校グラウンド (クレー)					○	○	
C		焼津中学校グラウンド (クレー)					○	○	
C		大村中学校グラウンド (クレー)					○	○	
C		港中学校グラウンド(クレー)					○	○	

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ 国際	全国 大会	県 大会	市内 大会	地域 市民 利用	夜間 利用	合宿
C		大井川中学校グラウンド (クレー)					○	○	
C		田尻北公園(クレー)					○		
C		小川公園(クレー)					○	○	
C		中根公園(クレー)					○	○	
C		河原富士見公園(クレー)					○		
C		大覚寺公園(西園)(クレー)					○	○	
C		八楠公園(クレー)					○		
C	ミニサッカー	松原公園(クレー)					○		
C	ミニサッカー	元焼津公園(クレー)					○		
C	ミニサッカー	瀬戸川緑地公園(クレー)					○		
C	ミニサッカー	縦小路公園(クレー)					○		
C	ミニサッカー	石津中央公園(クレー)					○		
C	ミニサッカー	清見田公園(クレー)					○		

屋外施設〈陸上競技〉

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ国際	全国大会	県大会	市内大会	地域市民利用	夜間利用	合宿
A	トラック・フィールド	総合グラウンド陸上競技場			○	○	○	○	○
A	マラソン	マラソンコースリバティ		○	○	○	○	○	○
B	トラック・フィールド	大井川河川敷運動公園陸上競技場				○	○		○

屋外施設〈テニス〉

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ国際	全国大会	県大会	市内大会	地域市民利用	夜間利用	合宿
A	硬式・軟式	漁船員テニス場（オムニ）			○	○	○	○	○
B	硬式・軟式	総合グラウンドテニス場（オムニ・クレー）				○	○	○	○

屋外施設〈プール〉

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ国際	全国大会	県大会	市内大会	地域市民利用	夜間利用	合宿
A	競泳	ディスカバリーパーク焼津 水夢館（日本水連公認：短水路）		○	○	○	○	○	○
B	遊戯	青峯プール					○		

屋外施設〈グラウンドゴルフ〉

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ 国際	全国 大会	県 大会	市内 大会	地域 市民 利用	夜間 利用	合宿
A		総合グラウンド陸上競技場 (天然芝)		○	○	○	○	○	○
A		大井川河川敷運動公園 (天然芝：陸上競技場・多目的 B、C) (クレー：サッカー場 A、B)		○	○	○	○		○
B		石津浜パノラマグラウンド				○	○		
B		田尻スポーツ広場				○	○	○	
B		一色水道用地				○	○		
C		藤守浜スポーツ広場					○		
C		関方社会教育広場					○		
C		石津浜公園サッカー場					○	○	
C		田尻北公園					○		
C		小川公園					○	○	
C		中根公園					○	○	
C		河原富士見公園					○		
C		大覚寺公園(西園)					○	○	

屋外施設〈ソフトボール〉

区分	競技種目	施設・設備名	利用格式						
			プロ 国際	全国 大会	県 大会	市内 大会	地域 市民 利用	夜間 利用	合宿
B		大井川河川敷運動公園 (A. B. C. D. E. F)			○	○	○		○
B		一色水道用地				○	○		○
B		田尻スポーツ広場				○	○	○	○
B		飯淵グラウンド				○	○	○	○
C		焼津西小学校グラウンド					○	○	
C		豊田小学校グラウンド					○	○	
C		港小学校グラウンド					○	○	
C		大井川西小学校グラウンド					○	○	
C		焼津中学校グラウンド					○	○	
C		大村中学校グラウンド					○	○	
C		豊田中学校グラウンド					○	○	
C		小川中学校グラウンド					○	○	
C		大富中学校グラウンド					○	○	
C		港中学校グラウンド					○	○	
C		大井川中学校グラウンド					○	○	
C		石脇公園					○	○	
C		大覚寺公園(西園)					○	○	
C		中公園					○	○	
C		清見田公園					○		
C		小川公園					○	○	
C		中根公園					○	○	
C		松原公園					○		
C		田尻北公園					○		
C		八楠公園					○		
C		縦小路公園					○		
C		河原富士見公園					○		

焼津市スポーツ推進計画（後期計画）

令和6（2024）年3月

焼津市 生きがい・交流部 スポーツ課

〒425-8502 静岡県焼津市本町 2-16-32

TEL:054-626-9413 / FAX:054-626-2188

HP : <https://www.city.yaizu.lg.jp/index.html>